

01 - TOP MESSAGE

トップメッセージ

2023年9月1日付けで、オンワード商事とオンワードクリエイティブセンターは合併し、『オンワードコーポレートデザイン』となりました。新しい会社名の多義的な言葉「デザイン」は課題解決、施行・概念の組み立て、そして様々な媒体への表現を意味しており、社員一人ひとりがそれを理解し、表現し、行動するという強い念いをこめて命名しております。長年培った、ユニフォーム事業やインサイトセールス事業、タイアップセールス事業に加え、当社のパーパス「ヒトと地球(ホシ)の、明日(あした)の笑顔デザインしつづける。」に基づき、スペースクリエイティブ事業・エンゲージメントデザイン事業・サステナブルコミュニケーション事業と新たに提供価値を拡充いたします。そしてサステナビリティへの取り組みについては、様々な方針や指針を策定し、土台作りと取り組みの強化を図りました。

Environment(環境)

2023年度は、「環境方針」の策定や「環境マネジメントシステム」の整備を実施いたしました。また廃棄対象の制服をアップサイクルし、什器等に活用するといった、事業間の相乗効果も生まれ始めております。脱炭素社会実現に向けた取り組みとしては、精緻なGHG(温室効果ガス)排出量の算出に向けた取り組みを開始しました。2024年度は実装に向けた仕組づくりを行ってまいります。

Social(社会)

「DE&I」推進として、社内外窓口設置、D&I検定受講、D&I AWARD認定取得、社内セミナー開催と活動が目立つ一年でした。引き続き、年齢、性別、人種、国籍、宗教、障がい、性的指向、性自認等による差別やハラスメントの無い職場環境づくりに努め推進してまいります。また、当社従業員のとるべく具体的な活動内容をとりまとめた「行動

指針」、サプライチェーンを構成する企業と責任ある持続可能な調達活動の推進を目的とした「調達指針」を策定いたしました。一方、コロナ禍で推進出来ておりませんでした、縫製工場へのCSR監査を再開いたしました。継続してサプライチェーン上での重要課題の確認と実効性及び責任のある人権デューデリジェンスの運用に注力いたします。

Governance(ガバナンス)

当社従業員における贈収賄等の防止の徹底を目的とした「腐敗防止規定」を策定し、社内研修を行いました。また各ハラスメント、知的財産権、情報の取り扱いについても同様に、引き続き研修の実施と理解促進、受講率の向上に向けて取り組みます。ガバナンスは会社の経営の透明性・客観性・健全性を確保する重要な取り組みです。その事を社員一人ひとりが理解して事業活動にあたるよう推進してまいります。

サステナビリティ方針及びマテリアリティを策定して3年が過ぎ、サステナビリティに取り組む姿勢や手法も変わってきていると感じております。4年目を迎え今一度、どうすれば本質的な取り組みが出来るか、また実効性を持たせられるのかについて、振り返る必要があると思います。サステナブル経営を加速させ、更なる進化の年にしたいと思います。また、目標達成にはお客様やお取引先様といったステークホルダーの皆様との共創が必要不可欠です。継続して個人、個社では解決不可能な課題への取り組みを、様々なカタチのパートナーシップを発揮して推し進めてまいります。

2024年 9月

代表取締役社長 **村上 哲**